

科目名	生物学実験Ⅲ			担当教員	浦和 博子	
単位	1単位	講義区分	実験		ナンバリング	ED4SBI406
期待される学修成果	教科教育 学校と社会					
アクティﾌﾞ・ﾚｰﾆﾝｸﾞ の要素	実習、フィールドワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	＜目標＞環境に応じた生物の成長・変化の観察、実験などを通し、生物の多様性に関して理解する。結果のとりまとめ、科学的な考察、発表を行う事ができる。そして、それらを科学レポートとしてまとめることができる。 ＜テーマ＞環境と生物の成長・変化、そして多様性を理解し、レポートにまとめ、発表する。					
授業の概要	環境に応じた生物の成長・変化を調べる実験・観察を行う。生物の形質転換法、遺伝子組換えの原理、倫理についても学ぶ。 デジタル技術利用①③④					

授業計画	
第1回	無菌操作の必要性
第2回	無菌操作のための滅菌法
第3回	無菌操作の実際
第4回	寒天培地の作製
第5回	細菌の培養
第6回	細菌の成長速度
第7回	温度変化と細菌の成長速度
第8回	細菌の環境耐性の獲得
第9回	実験レポート作成について
第10回	第1回から第8回までの実験結果発表、討論
第11回	多様な生物の形質転換法
第12回	形質転換と組換え体の作出
第13回	蛍光タンパク質を視るには
第14回	蛍光タンパク質の観察
第15回	第10回から第14回までの実験結果発表、討論

事前学修	0.5時間	生物学I, IIの復習。配布資料を読み、不明点を調べ、理解する。無菌操作の必要性について学習する。抗生物質の作用のしくみ、蛍光タンパク質の光る仕組みについて調べる。
事後学修	0.5時間	実験後にレポートを作成し、実験の原理、目的等を整理し理解する。考察の重要性を理解する。科学レポートの書き方、発表報について習熟する。
フィードバックの方法	提出されたレポートに関して、講評、総合評価をするほか、個別にコメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	40%	実験レポートの結果、考察及び理解度確認の課題が、科学的にまとめられているか評価する。
上記以外の試験・平常点評価	60%	実験、発表と討論への参加度、理解度確認により評価する。必要に応じ、小テストを行う。
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
資料を配布する。	なし	なし	なし	必要に応じ紹介する
参考資料	必要に応じて配布する。			